

ICカードリーダー D
取扱説明書

Apple, Apple Watch, iPhone and watchOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android は Google LLC の商標です。

eLWISE、ELWISE は、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

MIFARE は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

Microsoft、Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

SSFC は、大日本印刷株式会社の登録商標です。

Suica は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

PASMO は、株式会社パスモの登録商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

楽天 Edy（エディ）は、楽天 Edy 株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

本書は富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ApeosWare は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本書は、お使いの機械に本製品を設置したうえで、ユーザーが機能を使用する方法や、管理者が各機能を設定する方法などについて記載しています。

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 IC カードリーダー D について

利用できる IC カードについて説明しています。

2 IC カード読み取り設定

使用する IC カードの設定について説明しています。

3 IC カードリーダー D の使い方

IC カードリーダー D の使い方について説明しています。

4 注意 / 制限事項

本製品を利用する上でお読みいただきたい注意 / 制限事項を記載しています。

5 ライセンスについて

ライセンスについて説明しています。

本書の表記

- 本書では、IC Card Reader D を IC カードリーダー D と読み替えています。
- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。

補足

- 操作の参考になる情報を記載しています。

参照

- 参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	<ul style="list-style-type: none">•本書内にある参照先を表しています。•機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	<ul style="list-style-type: none">•参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none">•機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。•コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	<ul style="list-style-type: none">•操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	<ul style="list-style-type: none">•機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	<ul style="list-style-type: none">•コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>	<ul style="list-style-type: none">•機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。•コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。•参照先を省略して表しています。

1 ICカードリーダーDについて

機械を使用するときに、ICカードに書き込まれた情報と機械に登録したユーザー情報を照合して、利用制限やジョブなどの集計管理を行うことができます。

ここでは、利用できるICカードについて説明します。

6d 参照

- 利用制限、集計管理については、接続している機械のマニュアルを参照してください。

1.1 読み取りできるカード

ICカードリーダーDで読み取りできるICカードは次のとおりです。

- FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)
- FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)
- FUJIFILM Business Innovation 標準データ形式カード
- MIFARE Classic (Standard) 1K/4K
- MIFARE Plus S/Plus X *1
- MIFARE Ultralight/Ultralight C *1
- MIFARE DESFire *1
- TypeB (eLWISE *2/ELWISE *3)
- FeliCa Standard カード
- FeliCa Lite/Lite-S
- FeliCa SSFC フォーマット *4
- 楽天 Edy

*1：UID 7byte のみ使用できます。

*2：.Com-ID がない eLWISE は読み取りできません。

*3：カードシリアル ID がない ELWISE は読み取りできません。

*4：ICカードによっては、読み取りできないものがあります。

1.2 モバイル機器を使用した認証

Suica アプリ、PASMO アプリを登録したモバイル機器を、IC カードとして使用できます。(OS が iOS のモバイル機器は、Suica アプリにのみ対応)

使用できる機種と OS は次のとおりです。

機種	OS
iPhone SE (第 2 世代)	iOS 13.5.1
iPhone 11 Pro	
iPhone 11	
iPhone XS	
iPhone XR	
iPhone X	
iPhone 8	
iPhone 7	
iPhone 7 Plus	
Apple Watch Series 3 (38 mm)	watchOS 6.2.8
Apple Watch Series 5 (40 mm)	
AQUOS R3 (SH-04L)	Android 10
AQUOS sense2 (SH-M08)	Android 9
arrows Be3 (F-02L)	Android 9
Galaxy A20 (SC-02M)	Android 9
Galaxy S8+ (SC-03J)	Android 8.0.0
Galaxy S7 Edge (SC-02H)	Android 6.0.1
Pixel 4	Android 10
Reno A	Android 9
Xperia 1 (SO-03L)	Android 10
Xperia Ace	Android 9
Xperia Z5	Android 5.1.1

補足

- 2021 年 4 月時点の情報です。
- OS が Android のモバイル機器の場合は、Suica アプリまたは PASMO アプリのいずれかがインストールされている必要があります。
- モバイル機器によっては、読み取りできないものがあります。
- NFC 機能とは併用できません。
- 次の IC カードとは併用できません。
 - FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)
 - MIFARE
 - FUJIFILM Business Innovation 標準データ形式カード
 - Type B

1.3 NFC 機能について

スマートフォンやタブレット端末からのプリント / スキャン

IC カードリーダー D で NFC 機能を利用すると、IC カードリーダー D にタッチするだけでスマートフォンやタブレット端末から機械にプリント指示したり、機械からのスキャンによって、スマートフォンやタブレット端末に転送することができます。

NFC 機能の詳細については、弊社公式サイトをご覧ください。



注記

- IC カードリーダー D が接続できる機械でも、NFC 機能を使用できない場合があります。



補足

- スマートフォンやタブレット端末によっては、NFC 機能を使用できない場合があります。
- NFC が反応したら、端末を装置から離してください。端末をタッチしたままにすると、正常に動作しない場合があります。また、続けて端末をタッチするときは、間隔を 3 秒以上あけてください。
- NFC 機能において、端末によっては、IC カードとして認識する場合があります。
- 認証にモバイル機器を使用する場合は、NFC 機能を使用できません。

2 ICカード読み取り設定

インターネットサービスにアクセスすると、使用可能なICカードごとの設定、ICカード設定の暗号化、ゲート連携の設定、ICカード設定のアップロード/ダウンロード、および設定の初期化ができます。設定は、機械管理者モードで行います。

また、設定したICカード情報を確認できます。確認方法については、接続している機械のマニュアルを参照してください。

2.1 ICカードリーダーDの設定画面の表示方法

1. インターネットサービスを起動します。

 参照


- 起動方法については、接続している機械のマニュアルを参照してください。

2. 次の操作をします。





- 1) [ログイン] をクリックします。
- 2) 機械管理者のユーザーIDとパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。
- 3) [ホーム] の「クイックリンク」から [組み込みプラグイン] をクリックします。
- 4) ICカードリーダーDのプラグインをクリックします。
設定画面が表示されます。


2.2 使用する IC カード

使用する IC カードの設定

読み取り対象にする IC カードの種類を選択します。複数の項目を選択できます。
選択した項目に  ボタンがある場合は、クリックすると詳しい設定画面が開きます。
各設定が終わりましたら、[新しい設定を適用] をクリックしてください。

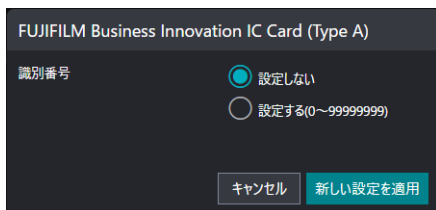


項目名	説明
FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)	チェックボックスをチェックすると、FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A) を読み取り対象にします。  ボタンをクリックすると、「[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)] 画面」(P.10) が表示されます。
FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)	チェックボックスをチェックすると、FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F) を読み取り対象にします。  ボタンをクリックすると、「[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)] 画面」(P.11) が表示されます。
FUJIFILM Business Innovation 標準データ形式カード	チェックボックスをチェックすると、「IC カード・ラベル発行システム」で発行された、FUJIFILM Business Innovation 標準データ形式の IC カードを読み取り対象にします。  補足 • 「IC カード・ラベル発行システム」は、ご使用の機械で IC カードを発行できるシステムです。詳しくは、IC カード・ラベル発行システムのマニュアルを参照してください。
MIFARE	チェックボックスをチェックすると、MIFARE カードを読み取り対象にします。  ボタンをクリックすると、「[MIFARE® UID / エリア指定] 画面」(P.11) が表示されます。

項目名	説明
Type B	<p>チェックボックスをチェックすると、Type B カードを読み取り対象にします。このカードを選択した場合、読み取り対象のカードとして、次のどちらかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> eLWISE ELWISE
FeliCa カスタマイズ 1 ~ FeliCa カスタマイズ 4	<p>チェックボックスをチェックすると、FeliCa カードを読み取り対象にします。このカードを選択した場合、さらに FeliCa の種類を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> FeliCa カスタマイズ FeliCa Standard カードを読み取り対象にします。[] ボタンをクリックすると、「[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® カスタマイズカード] 画面」(P.12) が表示されます。 FeliCa Lite を使用する FeliCa Lite カードを読み取り対象にします。[] ボタンをクリックすると、「[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® Lite] 画面」(P.14) が表示されます。 SSFC フォーマットを使用する FeliCa SSFC フォーマットカードを読み取り対象にします。[] ボタンをクリックすると、「[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - SSFC® フォーマット] 画面」(P.15) が表示されます。 Edy 番号を使用する 楽天 Edy カードを読み取り対象にします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> FeliCa カスタマイズは、1 ~ 4 の順に優先して IC カードを認識します。複数の FeliCa カスタマイズで、同一カードの別の領域を読み取るように設定する場合は、優先的に読み取りたい設定を FeliCa カスタマイズ 1 に設定してください。
[新しい設定を適用]	このボタンをクリックすると、設定が適用されます。

[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)] 画面

FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A) の識別番号を設定します。

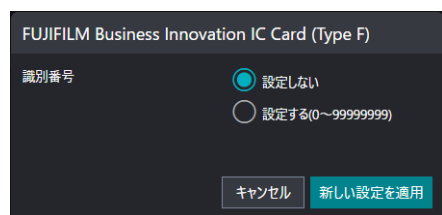


FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A) の設定

項目名	説明
識別番号	[設定する] を選択した場合は、FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A) の識別番号を 0 ~ 99,999,999 の範囲で設定します。
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)] 画面が閉じます。
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)] 画面が閉じます。

[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)] 画面

FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F) の識別番号を設定します。



FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F) の設定

項目名	説明
識別番号	[設定する] を選択した場合は、FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F) の識別番号を 0 ~ 99,999,999 の範囲で設定します。
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)] 画面が閉じます。
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type F)] 画面が閉じます。

[MIFARE® UID / エリア指定] 画面

MIFARE カードのデータ領域のうち、ユーザー ID として読み取るブロックを設定します。最大 3 つのブロックまで設定できます。複数のブロックを設定した場合、すべてを順番につなげた値がユーザー ID となります。32 文字まで設定できます。



ユーザー ID ブロック 1 ~ユーザー ID ブロック 3


項目名	説明
ユーザー ID ブロック 1 ~ユーザー ID ブロック 3	
読み取りエリア指定	ユーザー ID ブロックの読み取りエリアを [指定しない]、[UID (4Byte のみ) を使用する]、[UID (4Byte または 7Byte) を使用する] または [エリア指定] から選択します。 [エリア指定] を選択した場合は、[セクター番号] ~ [認証キー] の各設定をします。
セクター番号	読み取るエリアのセクター番号を 0 ~ 39 の範囲で設定します。
ブロック番号	読み取るエリアのブロック番号を設定します。 セクター番号が 0 ~ 31 のときは 0 ~ 2、32 ~ 39 のときは 0 ~ 14 が設定できます。
開始 Byte 位置	読み取り開始アドレスを 0 ~ 15 の範囲で設定します。
終了 Byte 位置	読み取り終了アドレスを 0 ~ 15 の範囲で設定します。
キー選択	ユーザー ID ブロックで使用する認証キーを、A キーまたは B キーのどちらかから選びます。デフォルトでは、[A キーで認証] が選択されています。
認証キー	ユーザー ID ブロックで使用する認証キーを 12 文字の 16 進数で指定します。
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[MIFARE® UID/ エリア指定] 画面が閉じます。
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[MIFARE® UID/ エリア指定] 画面が閉じます。

[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® カスタマイズカード] 画面

FeliCa カードのデータ領域のうち、ユーザー ID として読み取るブロックを設定します。最大 3 つのブロックまで設定できます。複数のブロックを設定した場合、すべてを順番につなげた値がユーザー ID となります。32 文字まで設定できます。

The screenshot shows the 'FeliCa® カスタマイズ1' (FeliCa® Customization 1) screen. At the top, there are four radio button options: 'FeliCa® カスタマイズカードを使用する' (selected), 'FeliCa® Liteを使用する', 'SSFC® フォーマットを使用する', and 'Edy® 番号を使用する'. Below this is the 'FeliCa® カスタマイズカード設定' (FeliCa® Customization Card Settings) section, which includes a 'システムコード' (System Code) input field. The main part of the screen is divided into three sections for 'ユーザーIDブロック1' (User ID Block 1), 'ユーザーIDブロック2' (User ID Block 2), and 'ユーザーIDブロック3' (User ID Block 3). Each section has a '読み取りエリア指定' (Read Area Designation) dropdown menu. For Block 1, it is set to 'IDmを使用する' (Use IDm). For Block 2 and Block 3, it is set to '指定しない' (None). At the bottom, there is a '*必須項目' (Required Item) label, a 'キャンセル' (Cancel) button, and a '新しい設定を適用' (Apply New Settings) button.

FeliCa® カスタマイズカード設定

項目名	説明
FeliCa® カスタマイズカード設定	
システムコード	システムコードを、4桁（固定）の16進数で入力します。  注記 <ul style="list-style-type: none"> • 「FFFF」を指定した場合、次の値が設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> - ユーザー ID ブロック 1 : IDm を使用する - ユーザー ID ブロック 2～3 : 指定しない
ユーザー ID ブロック 1～ユーザー ID ブロック 3	
読み取りエリア指定	ユーザー ID ブロックの読み取りエリアを [指定しない]、[IDm を使用する] または [エリア指定] から選択します。 [IDm を使用する] を選択した場合、カードから IDm を読み取り、ユーザー ID とします。 [エリア指定] を選択した場合は、[サービスコード] 以降の各設定をします。
サービスコード	システムコードを、4桁（固定）の16進数で入力します。
開始 Byte 位置	読み取り開始アドレスを 0～4095 の範囲で設定します。
終了 Byte 位置	読み取り終了アドレスを 0～4095 の範囲で設定します。
認証しない	認証せずにカード読み取りをする場合に選択します。
相互認証する（DES 暗号方式）	FeliCa カードから、鍵付きのエリアを読み取る時に選択します。この項目を選択した場合、さらに次の項目を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • エリアコードリスト • ユーザーサービスキー • グループサービスキー
相互認証する（AES 暗号方式）	FeliCa カードから、鍵付きのエリアを読み取る時に選択します。この項目を選択した場合、さらに次の項目を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 個別化パラメータ • 個別化コード • グループ鍵
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[FeliCa® カスタマイズ {1～4} - FeliCa® カスタマイズカード] 画面が閉じます。
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[FeliCa® カスタマイズ {1～4} - FeliCa® カスタマイズカード] 画面が閉じます。

[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® Lite] 画面

FeliCa Lite カードのデータ領域のうち、ユーザー ID として読み取るブロックを設定します。最大 3 つのブロックまで設定できます。複数のブロックを設定した場合、すべてを順番につなげた値がユーザー ID となります。32 文字まで設定できます。

FeliCa® Lite カード設定

項目名	説明
FeliCa® Lite	
(プルダウンメニュー)	FeliCa Lite カードを利用するときの認証方法を、次から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 認証しない • 片側認証する • 相互認証する
(プルダウンメニュー)	[片側認証する] または [相互認証する] を選択した場合は、どのカード鍵を使用するか次から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 個別化カード鍵を使用する (すべてのカードで共通) • 個別化マスター鍵を使用する
(テキストボックス)	[相互認証する] を選択した場合は、個別化マスター鍵、または個別化カード鍵を指定します。 個別化マスター鍵は 48 桁 (固定) の 16 進数、個別化カード鍵は 32 桁 (固定) の 16 進数で指定します。
ユーザー ID ブロック 1 ~ ユーザー ID ブロック 3	
読み取りエリア指定	ユーザー ID ブロックの読み取りエリアを [指定しない]、[IDm を使用する] または [エリア指定] から選択します。 [IDm を使用する] を選択した場合、カードから IDm を読み取り、ユーザー ID とします。 [エリア指定] を選択した場合は、[開始アドレス] および [終了アドレス] を設定します。
開始 Byte 位置	読み取り開始アドレスを 0 ~ 223 の範囲で設定します。
終了 Byte 位置	読み取り終了アドレスを 0 ~ 223 の範囲で設定します。
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® Lite] 画面が閉じます。

項目名	説明
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® Lite] 画面が閉じます。

[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - SSFC® フォーマット] 画面

SSFC フォーマットの FeliCa カードを利用する場合に、読み取るデータについて設定します。

FeliCa® カスタマイズカード設定

項目名	説明
SSFC® フォーマットカード設定	
システムコード	システムコードを、4桁（固定）の16進数で入力します。 注記 • [FFFF] は設定できません。[FFFF] を設定する場合は、「[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - FeliCa® カスタマイズカード] 画面」(P.12) で設定します。
CLコード（会社識別コード）	会社識別コードを、ASCII コードの文字 10桁（固定）で指定します。
（ラジオボタン）	認証時にどのキーを使用するか指定します。 [社員番号、会社コード、発行回数で認証する] を選択した場合は、[連結順位] も指定します。
連結順位	[社員番号]、[会社コード]、および [発行回数] を連結するときの順位を選択します。 補足 • [会社コード] / [発行回数] は「指定しない」を選択できます。 • [指定しない] を選択した項目は、ID に使用されません。
[キャンセル] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映されず、[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - SSFC® フォーマット] 画面が閉じます。
[新しい設定を適用] ボタン	このボタンをクリックすると、設定が反映され、[FeliCa® カスタマイズ {1 ~ 4} - SSFC® フォーマット] 画面が閉じます。

モバイル機器で認証するための設定


モバイル機器の準備

モバイル機器に Suica または PASMO アプリをインストールし、支払い設定でメインカードを「Suica」または「PASMO」に設定します。

注記

- お使いの OS によって、モバイル機器にインストールするアプリが異なります。
 - iOS : Suica アプリをインストールします。PASMO アプリには対応していません。
 - Android : Suica または PASMO アプリのいずれか 1 つをインストールします。
- Suica、PASMO アプリ以外の非接触 IC 決済アプリはインストールしないでください。同じモバイル機器にほかの非接触 IC 決済アプリがインストールされていると、IC カードリーダー D で正しく認証できないことがあります。

使用する IC カードの設定

[使用する IC カード] 画面で、FeliCa カスタマイズ 1 ~ 4 のどれかを選択し、[FeliCa® カスタマイズカードを使用する] の  をクリックして、次のように設定します。

- システムコード : 「FFFF」
- ユーザー ID ブロック 1 : 「IDm を使用する」
- ユーザー ID ブロック 2 ~ 3 : 「指定しない」





補足

- FeliCa カスタマイズ 1 ~ 4 のどれか 1 つだけに設定できます。
- 次の IC カードとは併用できません。
 - FUJIFILM Business Innovation IC Card (Type A)
 - MIFARE
 - FUJIFILM Business Innovation 標準データ形式カード
 - Type B

2.3 暗号化設定



暗号化設定

項目名	説明
[暗号化] ボタン	このボタンをクリックすると、ICカードが暗号化されます。  注記 • ICカードを暗号化すると、ICカードの設定を編集できなくなります。
[暗号化解除] ボタン	このボタンをクリックすると、ICカードの暗号化が解除されます。  注記 • ICカードの暗号化を解除すると、ICカードの設定が初期化され、標準の設定に戻ります。

2.4 ゲート連携

管理対象とする部屋の入り口（ドアゲート）に設置したゲート機器と連携する場合に設定します。

IC Card Reader D FUJIFILM

ICカード設定 SSFC®連携サービス設定 一括設定

ゲート連携

無効

有効 設定情報：0h

入室フラグ (1h)

部屋番号 (2h) 1

フロア番号 (4h) 0

ビル番号 (8h) 0

地域番号 (10h) 0

セキュリティレベル (20h) 0

新しい設定を適用

© FUJIFILM Business Innovation Corp. 2021

ゲート連携

項目名	説明
(ラジオボタン)	ゲート連携を有効にするかどうか [無効]、[有効] のどちらかを選択します。
入室フラグ	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、入室フラグをゲート連携の成否判断に使用します。
部屋番号	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、部屋番号をゲート連携の成否判断に使用します。 部屋番号を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
フロア番号	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、フロア番号をゲート連携の成否判断に使用します。 フロア番号を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
ビル番号	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、ビル番号をゲート連携の成否判断に使用します。 ビル番号を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
地域番号	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、地域番号をゲート連携の成否判断に使用します。 地域番号を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
セキュリティレベル	ゲート連携の設定で [有効] を選択した場合、チェックボックスをクリックすると、セキュリティレベルをゲート連携の成否判断に使用します。 セキュリティレベルを 0 ～ 65535 の範囲で設定します。

2.5 設定のエクスポート / インポート (一括設定)



設定のエクスポート

項目名	説明
[エクスポート] ボタン	このボタンをクリックすると、機械に登録されているICカードの設定情報をエクスポートできます。

設定のインポート

ICカードの設定情報を機械に登録したり、すでに登録されているICカードの設定情報を上書きしたりします。

項目名	説明
設定ファイル	[選択] ボタンをクリックして、登録するICカード設定のファイルを指定します。指定できるファイル形式は、".bin"です。
[インポート] ボタン	このボタンをクリックすると、設定ファイルがインポートされ、登録されます。

初期設定に戻す

項目名	説明
[初期設定に戻す] ボタン	このボタンをクリックすると、すべての設定が初期値に戻ります。

3 ICカードリーダーDの使い方

ICカードリーダーDの使い方について説明します。

1. ICカードリーダーDにICカードをタッチします。

注記

- ICカードリーダーDにICカードを確実にタッチしてください。
- 機械の設定によっては、パスワードの入力が必要な場合があります。パスワードの入力を間違えた場合は、操作パネルの〈認証〉ボタンを押して、いったん認証状態を解除してから、再度ICカードをICカードリーダーDにタッチしてください。
- OSがiOSのモバイル機器を認証に使用する場合は、「リーダーにかざしてください」が表示された状態で、ICカードリーダーDにタッチしてください。なお、認証に使用されるだけで、支払いは発生しません。

ユーザー認証を終了する方法は、接続している機械の設定に従います。

参照

- 詳しくは、接続している機械のマニュアルを参照してください。

4 注意 / 制限事項

4.1 機械使用上の注意 / 制限

IC カードリーダー D について

- IC カードリーダー D は次の EP 関連商品と同時接続できます。
 - Dispenser 2
 - IC Card Cashier
 - Coin Cashier
 - Foot Switch
 - EPnet-BOX type L
 - EPnet-BOX type W2 (販売終了)



注記

- Dispenser 2 (CLモード設定) を利用している場合、IC カードリーダー D は接続できません。



補足

- 設定は、カスタマーエンジニアが行います。IC Card Cashier を接続する場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

4.2 認証 / 集計管理機能使用上の注意 / 制限

IC カードを利用した外部認証について

- 外部認証は、「ApeosWare Management Suite」、「Active Directory」、「ApeosWare Management Suite + Active Directory」の環境で使用できます。
- レルム名には初期値が設定されています。初期値と異なるレルム名を使用する場合だけ、設定を変更してください。

4.3 節電機能について

低電力モードのときに、IC カードリーダー D にカードをタッチすると節電状態から自動復帰します。



補足

- スリープモードの場合は、復帰できません。低電力モードからスリープモードへの移行時間を長めに設定することで自動復帰が利用可能になります。
- スリープモードに移行した場合、節電状態からの復帰時間が通常より長くなる場合があります。

4.4 モバイル機器を認証に使用する場合の注意 / 制限

モバイル機器の IDm が変更されることがあります。IDm が変更されて認証できなくなった場合は、IC カード登録を利用して IDm を登録し直してください。

5 ライセンスについて

IC カードリーダー D

© FUJIFILM Business Innovation Corp. 2021

保守・操作・修理のお問い合わせは

この商品の保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせは、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

- カスタマーコンタクトセンターの電話番号は、本機を接続している機械に貼付のカードやシールに書かれています。ご連絡の際は、カードやシールに書かれている「機種名」、および「機械番号」をお知らせください。
- 本機を廃却する場合は、弊社販売店、またはカスタマーエンジニアにご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口：お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時
フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

公式サイト：<https://www.fujifilm.com/fb/>

- 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。